

西播の蝶分布資料 (8)

宍粟郡のメスアカミドリシジミ 岩村 巖

Some note on the Butterfly Fauna of South west Hyōgo-pref (8)

(The distribution of *Chrysozephyrus smaragdinus* in Shisō-gun)

西播における本種の確実な採集記録は、山本広一氏による1935年7月12日の飾磨郡夢前町雪彦山でのものが最初であろうと思われるが、その後1960年代に至るまで、長らく当地方における採集の報告はなされていない。宍粟郡内での本種の最初の記録は1964年6月7日に山崎町筏の上流、奥山国有林の林道ぞいの桜の老木の樹上で筆者が採集した4♂♂がおそらく最初ではないかと思われる。当地方における本種の分布のようすがかなり明確に判明したのは1970年代のそれ後半になってからであり、それまでは目撃記録すら皆無に等しいのが実情であった。

1974年~77年にかけて井手敏晴、高田忠彦の両氏により県下のシジミチョウの分布調査がなされ、その結果を兵庫県産蝶類調査報告(I)としてまとめておられるが、これによれば、波賀町赤西、一宮町福知、千種町木地山、山崎町上・下等において成虫又は卵の採集が記録されている。又一方、1975年以降、姫路昆虫同好会、播磨蝶友会等のメンバーによる組織的な調査が冬期の採卵を中心としてすすめられるようになり、次第に採集報告数も集約されつつあり、その結果、本種が、当地方の標高400m~800mあたりの広葉樹林帯の溪流ぞいにかなり広範囲にわたって分布していることがかなり明らかになって来た。筆者も1977年以降、本種の西播における分布状態のより正確な解明をめざして、かなり積極的に採卵を中心として取り組んで来ており、その結果として現在までに新しい分布地もいくらかみつかったので、この機会に、これまでの既産地も含めて宍粟郡内の分布状態をまとめておきたいと思う。

宍粟郡4町の内では本種の産地が最も多いのは一宮町である。三方川上流東側の各溪流ぞいにはかなりの産地が知られている。佐々木薫氏は草木において11卵の採集に成功しておられる(1979.12.1)、八木弘氏による黒原での5卵の記録もある。又福知、下千町等での採卵記録はかなりの数に達しており、その個体数は相当多いものと思われる。その他砥峰(大河内町側にも記録がある)、伊和、東河内、太谷、富士野において筆者がその分布を確認している。しかし、同じ三方川流域でも西側の渓谷には採集されたという報告が今の所なされていない。小原、溝谷、阿舍利等の調査の際

にも卵は発見されていない。波賀町においては戸倉、赤西、東山高原での分布が確認されており、尾崎勇氏によれば新戸倉にも産地があるとの事である。しかし、一宮町にくらべれば調査が十分におこなわれておらず、今後の調査にまつ所が大である。この事は千種町においても同様であり、今後の組織的な調査を期待したい。一方南の安富町においては広畑政己氏による大河弁獄からの記録が現在までの所唯一のものであり、(1977.3.27)、尾崎氏によれば1978年にも1卵採集されているとの報告がある。又、山崎町においては北部の黒尾山塊に本種の分布している事が確認されているが、これについては西播の蝶分布資料(7)(ひろおび、No.5)にくわしくのべておいたので参照されたい。

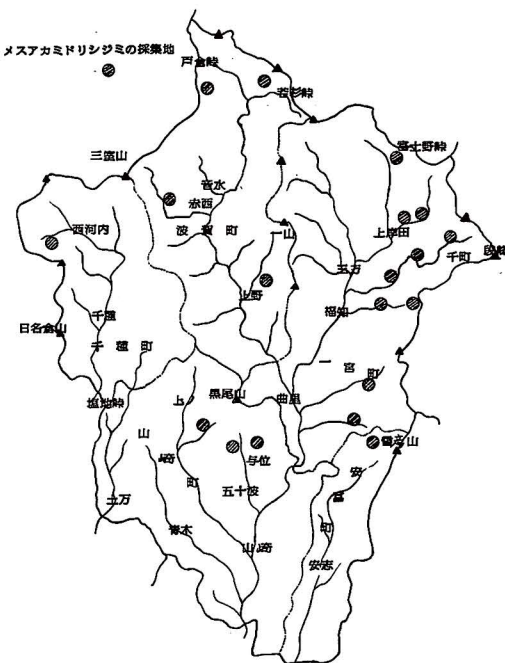
- 1964. 6. 7. 4♂♂ 山崎町筏 (岩村)
- 1975. 7. 19. 1♀ 一宮町砥峰(福知溪谷側) (〃)
- 1977. 3. 27. 1卵 安富町大河弁獄 (広畑)
- 1978. 12. 6. 32卵 山崎町筏 (岩村)
- 1978. 12. 24. 16卵 一宮町福知 (〃)
- 1979. 1. 14. 8卵 山崎町与位 (〃)
- 1979. 2. 12. 42卵 一宮町下千町 (〃)
- 1979. 2. 18. 11卵 一宮町黒原 (〃)
- 1979. 3. 18. 5卵 一宮町黒原 (八木)
- 1979. 12. 1. 11卵 一宮町草木 (佐々木)
- 1979. 12. 2. 3卵 一宮町東河内 (岩村)
- 1979. 12. 2. 1卵 一宮町伊和 (〃)
- 1979. 12. 2. 3卵 波賀町上野東山高原 (〃)
- 1980. 1. 5. 8卵 一宮町太谷 (〃)
- 1980. 1. 7. 21卵 山崎町河原山林道 (〃)

本種の卵は食樹の下枝で発見される場合が多く、分枝部や樹皮上に出来たくぼみ等にほとんど1卵ずつ、時には2~数卵まとめて産付されている。いずれもが日裏にあたる枝の下部であり、日のあたる上面に産みつけられている事はほとんどない。又、同じ下枝でも、溪流上に大きくはり出している南側に面しているものに最も多く発見される。さらに、その年に伸びた1年目のまだ木はだの淡い先端近くの樹上よりも、それよりもっと幹部よりの2年目あたりの樹上に産卵されている場合が多いが、時には頂芽の基部や、かなり太い

幹からも発見される事もある。福知溪谷において直径35mm以上のかかなり太い樹上より数卵採集した経験がある。産地に自生している、ヤマザクラ、ミヤマザクラ、キンキマメザクラ等数種のサクラ類のいずれもから卵が発見出来るが、ソメイヨシノに対する嗜好性はあまりないようで、ほとんど卵は発見されない。しかし飼育の際に与えればソメイヨシノでも十分に发育し、成虫の大きさにも変わりはない。尾崎氏によれば、栽培されているサクラの種類でも十分に飼育可能であるという。

自然界における孵化は3月下旬頃より4月上旬にかけておこらしく、筏での1979年における3月26日の調査では、すでに孵化してしまっている卵がかなりまじって発見されている。羽化は早いもので6月上旬、普通は中旬頃よりおこらしいが、羽化後♀はかなり長期間生きていようで、7月19日に比較的新鮮な♀を採集した記録もある。

以上、これまでに判明している宍粟郡のメスカミドリシジミの分布について、いくらかの観察結果等もまじえて述べて来たのであるが、まだまだ調査不十分の所もかなりある。今後のより精力的な調査を期待したい。なお、筆をおくにあたり、資料の提供等色々とお世話いただいた相坂耕作、入江照夫、尾崎勇、川崎悟良、木村三郎、佐々木薫、若木隆幸、広畑政己、八木弘の諸氏に末筆ながら深くお礼申し上げる。



参 考 文 献

- (1) 広畑政己 (1979) : 安富町大河弁獄7月上旬の蝶 (ひろおび, No.4. : 18)
- (2) 八木 弘 (1980) : 蝶の飼育を試みて (ひろおび, No.5. : 19~20)
- (3) 佐々木薫 (1980) : 宍粟郡一宮町にヒサマツミドリシジミを求めて (ひろおび, No.5. : 23)
- (4) 尾崎 勇 (1980) : 兵庫県の蝶(1) 千種川水系の蝶相。(ひろおび, No.5. : 24~30)
- (5) 神戸新聞社学芸部 (1974) : 兵庫探検自然編 (神戸新聞社)
- (6) 山本広一 (1954) : 播磨雪彦山の蝶 (兵庫生物, Vol. 2.No.4~5 : 226~227)
- (7) 高田忠彦・井手敏晴 : 兵庫県産蝶類調査報告〔I〕シジミチョウ科 (その1)

(S. 02 : IWAO IWAMURA 姫路市)

相生市のナガサキアゲハについて

米 村 和 繁

1980年5月24日に相生市陸にてナガサキアゲハの♀が1頭採集され、同時に蛹も2匹採集されていた。確認の為、採集者宅を訪問して尋ねてみると、付近のキンカンの木にて採集したものであった。この蛹は越冬したものであるが、おしくも寄生されていた。

5月中旬御津町室津にて♀を採集し、産卵させ飼育をしたものを川原町にて15頭放して結果をみた。7月中旬の天気の良い日には、ミカンの木にて産卵行動がみうけられた。私の家の前のミカンの木にて産卵している♀は、私が放した♀ではなかった。

市内のあちこちでナガサキアゲハの幼虫もとれている。鯛浜地区に於てもナガサキアゲハをよく見ると浜田氏から聞いている。9月3日に矢野町能下にてナガサキアゲハの♂がクサギの花にきているのを目撃、相生市の北のはしまで入りこんでいる。相生2丁目にて9月3日に完品の♂♀を1頭づつ目撃した。この場所は、7月中旬に産卵していた木でもある。相生市に於ては5月中旬、7月上旬、9月上旬と3回発生していることになる。来年も自然の状態を観察していきたい。

(S. 29 : KAZUSHIGE YONEMURA 相生市)